

第15期後半期（2017年度）活動のまとめ（案）

<はじめに>

第15期（2016～2017年度）は、『すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現』を連合群馬が目指すべき姿と位置づけ、『働く仲間の結集で、安心・安定社会の実現！』を基本目標に掲げ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて「組織強化・組織拡大」をはじめとする7つの活動項目を地域のなかで存在感を高めていくことを目指し連合運動に取り組んできました。

とりわけ後半期においては、7つの活動の柱に対する補強に主眼を置き、産別・地協・県連合が一体となって取り組んできました。

具体的には、①1000万連合の取り組みを柱に集团的労使関係の構築を目指す『組織拡大・組織強化』では、“ターゲット企業の組織拡大への取り組み”②顔の見える運動の強化に向けた『地域に根差した活動』では、“地協統合後1年が経過したことを踏まえ、新たに発生した課題を整理し地協活動の活性化に取り組む”③格差是正と働きやすい職場づくりに向けた『労働条件の底上げ』では、“働く者・生活者が安心して生活できるよう、また、非正規労働者の支援強化と労働環境が悪化しないよう働くものを守る取り組み”④県民が安心して暮らせる社会の実現に向けた『政策・制度要求実現』では、“群馬県各部署との連携強化や首長との意見交換”⑤働く者の政治勢力拡大を目指す『政治活動』では、“県都前橋の市議会議員選挙をはじめとする各級自治体選挙への取り組み”⑥組織力を最大限活かした『支え合い、助け合う社会づくり』では、“フェスティバルへの参加呼びかけや各種団体・助成団体との連携強化”⑦あらゆる分野における『男女平等参画の実現』では、“女性委員会の参画産別拡大に向けた訪問活動”に取り組みました。

① 1000万連合の取り組みを柱に集团的労使関係の構築を目指す『組織拡大・組織強化』

1. 「1000万連合」実現に向けた組織拡大への取り組み

◆各組織との連携をより一層強化し、組織拡大目標として掲げた、2017年には連合群馬結成時を超える11万5千人、2020年には結成以来過去最高組織人員の12万5千人の達成に向けて取り組みます。

(1) ターゲット企業との接点づくり

- ① 連合群馬に寄せられた労働相談をきっかけに1件のターゲット企業を選定し、今後の組織化を目指して学習会をスタートしました。
- ② ターゲット企業として選定している県内大手スーパーマーケットチェーンに対する接点づくりを進めるため、連合群馬で取り組む県民意識調査を依頼した結果、配布枚数の約半数の回答を得ることができました。
- ③ 地域労働相談センターに寄せられる相談や、地協幹事会を通じた未組織企業の情報提供によるターゲット企業の選定に取り組んできましたが具体的な成果は得られていません。
- ④ なんでも労働相談体制の充実をはかるため、アドバイザーによる相談対応回数を1回/週から、隔週で2回/週に変更しました。

(2) 進捗状況の確認とフォロー

- ① アドバイザーとの定例会を1回/月開催し、連合群馬ユニオン加盟組織の取り組み状況を共有するとともに組織拡大に向けた課題について意見交換を実施しました。

- ② 執行委員未選出の産別（3産別）との対話活動を実施し、組織拡大・強化をはじめとする産別の取り組み状況を共有するとともに、連合運動を進める上での課題について意見交換を実施しました。
- ③ 組織化につながる可能性のある情報が少なかったことから、連合本部組織化専任チームとの情報交換は実施には至りませんでした。

（3）組織化後の労使関係づくり支援

- ① 連合群馬ユニオン加盟組合の機関会議や団体交渉に参画など、フォロー活動に積極的に取り組みました。
- ② 構成産別と連携し連合群馬ユニオン加盟組織である榛名モールド労働組合の産別移行（JAM）を行いました。

（4）地域へのPR

- ① 労働組合づくりのPRとして、前橋、高崎、太田エリアに約9万枚の新聞折込みを実施しました。また、ふれあいフェスティバルの議長挨拶にて労働組合の存在意義について説明して頂きました。
- ② 群馬中小企業家同友会を訪問し、県内の雇用情勢の共有や労働環境改善に向けた連合の取り組みについての説明と意見交換を行いました。相互組織理解へのきっかけにつなげることができたと考えます。

（5）群退連組織の組織拡大

- ① ターゲット組織との対話活動など具体的な取り組みは実現できていません。

2. 労働運動の更なる向上に向けた組織強化の取り組み

◆連合運動の更なる発展に向け、労働運動の担い手やオルガナイザーの育成に取り組みます。

（1）新任役員などを対象とした研修の開催による連合運動の担い手育成

- ① 産別・地協の新役員を対象に、連合本部より講師を招き、連合運動全般および組織拡大の重要性などを内容とした新任役員研修会を開催し参加者の理解を深めました。

（2）次代を担う人材育成

- ① 7月に開催された連合本部主催の組合づくりオルガナイザー研修会（基礎編）に3名が参加しました。また9月に開催された連合関東ブロック主催のオルガナイザー研修会（導入編）に5名が参加するとともに組織化事例の報告を行いました。
- ② 全国労働基準関係団体連合会主催の個別労働紛争解決研修に4名が参加しました。
- ③ 地協のTLU学習会の場を活用し、県連合より労働法制や組織拡大についての説明を行い参加者の理解を深めました。
- ④ 連合関東ブロック主催の海外派遣研修に、青年・女性委員会代表者（各1名）が参加し、ミャンマーの労働・生活事情を視察し見聞を深めました。

3. 組織強化に向けた財政基盤の確立

◆地協活動検討委員会での論議を踏まえた、安定した財政の基盤の確立に取り組みます

（1）持続・発展可能な財政基盤の確立

- ① 各地協と連携し、県連合と各地協の連結決算を本格的にスタートさせるとともに本部で認める特別会計を除く地協で設置する特別会計の廃止・整理に取り組みました。また、県連合の決算報告に地協を含めた全体の状況を示しました。

4. 各種広報ツールを活用した県民へのPR

◆広報媒体を活用した、県民に対する連合運動の理解・促進に取り組みます。

(1) 各種広報ツールの活用

- ① 街宣活動や連合群馬ふれあいフェスティバルにおけるティッシュの配布、また、ホームページ、フェイスブックなどSNSを通じ地域へのPRに取り組みました。
- ② 連合群馬フェイスブックの更新は、タイムリーな発信を意識し取り組みました。
- ③ 連合群馬のフェイスブックと地協のフォトアルバムの連動に向けたシステム構築に取り組みました。

<評価と課題>

- ・15期後半期における組織拡大実績は3組織、280名となりました。連合群馬の組織人員は96,510名（1月現在）となり、昨年より237名の増加となりました。一方で目標として掲げている2020年12万5千人の組織人員に対する進捗は77.1%となっており目標達成に向けてサポートをかけることが必要です。
- ・前半期よりターゲット企業として設定した、県内大手スーパーチェーンのB社については県民意識調査を15枚お願いし8枚の回答を得ることができました。B社に対しては定期的な訪問活動を続け連合群馬との関係構築を引き続き維持しつつ組織化に取り組む必要があります。
- ・新任役員研修では連合本部役員を招き、連合の歴史や組織拡大の重要性について説明頂くなど従来の取り組みに変化を加え実施しました。今後も連合本部および外部講師を活用しながら人材育成を進めていくことが重要と考えます。
- ・機関紙「あぷらうち」やSNSを活用し連合運動の取り組みについてPRを行いました。また地協の活動を幅広くPRするために地協フォトアルバムと連合群馬のフェイスブックの連動に向け準備を進めています。

2 顔の見える運動の強化に向けた『地域に根差した活動』

1. 地協統合におけるフォローと地域に根差した顔の見える地協体制の推進

◆各地協に対するフォローと地協機能の充実に向けて取り組みます。

(1) 地協機能第一ステップ活動の定着

- ① 地協活動検討委員会を通じて、地協の役割や機能についての再確認を実施しました。
- ② 地協の幹事会を通じ幹事に対し未組織企業の情報提供を呼びかけました。またふれあいフェスティバルの労働相談コーナーを通じた情報収集に取り組みました。

(2) 地協に対するフォロー活動の充実

- ① 地協四役会、幹事会の機会に加え街宣活動を活用した地協訪問を実施しました。
- ② 統合地協の新たな課題の整理、解決に向けて、地協の機関会議を活用し意見交換を行いました。

(3) 地協専従者配置の総括実施

- ① 今後の地協新専従者配置に向けて地協活動検討委員会を開催し、専従者数、配置エリアおよび拠点、役割について論議し結論を出しました。

2. 地域で暮らす勤労者のためのサポート活動

◆地域における相談PRの充実に取り組みます。

(1) 労働・生活相談PR

- ① 連合群馬ホームページ、街宣行動の機会を活用し、地域労働相談センターのPRに取り組みました。

<評価と課題>

- ・地協活動検討委員会では、地協機能の充実と強化に向けて、地協の役割の再確認と現状について論議を行いました。また今後の地協専従体制についても論議を行い16期後半期スタート時の専従者数および配置エリアまた拠点について結論を出しました。一方で地協専従者の具体的人選および働き方など労働条件について今後整備をしていく必要があります。
- ・地域からの組織拡大に向けては、地協からの情報によるターゲット企業の選定を進めてきましたが、具体的な選定および組織化は現時点において実現ができていません。ターゲット企業の選定に向けては県連合と地協が連携し地協内でのプロジェクトチームを設置するなど具体的な取り組みを進めることが必要と考えます。

③ 格差是正と働きやすい職場づくりに向けた『労働条件の底上げ』

1. 賃金・労働条件の向上に向けた取り組み

- ◆県内で働く仲間の賃金・労働条件の底上げ・底支えをはかり、安心して働き・暮らせる社会を目指します。

(1) 春季生活闘争による労働条件の底上げ・底支えの取り組み

- ① TLU（総合生活改善）に向けて全県集会を開催し、「底上げ・底支え」「格差是正」「長時間労働撲滅」をキーワードとして「クラシノソコアゲ」「ハッピーライフ」の実現に向け取り組むことを共有しました。また中小労組決起集会・アピールウォークを行い世論喚起の取り組みを行いました。
- ② 賃上げの必要性は意識していたものの、経営者団体に対する直接的な要請行動は実施できませんでしたが、「クラシノソコアゲ」「格差是正」「長時間労働撲滅」に対する情報発信を行いました。
- ③ 中小地場労組への波及を目的に、連合群馬構成組織の賃金・一時金の要求・妥結状況をタイムリーに集約し計4回の情報発信を行いました。

(2) 雇用の安定と公正労働条件の確保に向けた取り組み

- ① 「クラシノソコアゲ応援団」の取り組みとして、地協、議員懇とともに県内全域にて街宣行動および駅頭における停止街宣を計画しました。また、駅頭やフェスティバル会場にて街頭アンケートを行いました。
- ② 誰もが希望を持ち安心して暮らせる社会を実現するため、高崎駅周辺でのチラシ配布、ディーセントワーク集会・アピールウォークにて周知活動に取り組みました。
- ③ 各労働基準監督署（県内7署）と地協役員を中心とした意見交換会を実施し、労働相談内容などの共有、働き方改革実行計画実施に向けた協議等を行い各地域における連携強化をはかりました。

(3) 適正な水準まで最低賃金を引き上げる取り組み

- ① 地域ミニマム運動の展開をはかるため、中小労組を中心に賃金データを収集し、ミニマム運動の周知や賃金水準の引上げにつながるよう構成組織にデータ提供を行いました。
- ② 地域別最低賃金の引上げに向け、街宣行動による世論喚起をはかりました。また、近隣県との格差是正を意識し取り組んだ結果、24円の引き上げにつなげることができ、最低賃金は783円になりました。
- ③ 特定最低賃金では、当該労使のイニシアチブにより4業種（鉄鋼、電気、一般、輸送）の申し出を行いました。

2. 労働安全衛生対策の推進

◆労働災害のない、安全で安心して働ける職場環境をつくります

(1) 職場における労働災害防止の取り組み

- ① 労働災害防止に向けた職場環境改善の必要性は理解していたものの、労使参加型のセミナー開催までには至りませんでした。
- ② 群馬県産業労働懇談会や安全衛生労使専門会議にて、労働災害防止に向けた意見提起を行いました。

(2) メンタルヘルス対策の取り組み

- ① 「アサーション」（自分と相手を大切にす表現方法）、「エゴグラム」（性格診断）を題材としたメンタルヘルスセミナーを開催し啓発活動に努めました。
- ② ライフサポート相談にて心の悩み、キャリア形成の相談に取り組みました。また、キャンペーンを設け、新聞広告にて周知をはかりました。

3. 若者の雇用・就労環境の改善に向けた取り組み

◆若者に対して、働くことの意義や働くときのルールを伝えます。

(1) 将来の勤労者への勤労観の醸成に向けた取り組み

- ① 太田東高校の「公開みらい学」に21名の講師を派遣し、「働くこと」や「社会人としての家庭や地域での役割」について保護者も交え対話を行いました。
- ② 「連合群馬ふれあいフェスティバル」への参加校拡大に向けアプローチを行い、高校3校、大学3校の参加が得られました。

(2) 県、労働局と連携した若者雇用・定着促進

- ① 職業能力審議会やインターンシップ・Gターン就職支援に関わる委員会等に参加し、若者の就職支援に対し勤労者の立場から課題や取り組みについて意見提起を行いました。
- ② 経営者協会と連携をはかり、労使合同提言の新たなテーマの選定に向け、検討を開始しました。

<評価と課題>

- ・2017春闘は「クラシノソコアゲ」実現に向け、情報提供・世論喚起に努めました。
- ・労働局との実務者会議等で、働く者の立場から意見提起を行いました。
- ・従来と見方を変えた内容のメンタルヘルスセミナーを開催しました。
- ・若者の就職支援に対し勤労者の立場から課題や取り組みについて意見提起を行いました。
- ・労使合同提言については、テーマ選定を踏まえ実現に向けて計画的に進める必要があります。

4 県民が安心して暮らせる社会の実現に向けた『政策・制度要求実現』

1. 「政策・制度要求と提言」の策定と実現に向けた取り組み

◆県民ニーズをとらまえた政策策定の充実をはかり実現に向けて取り組みます。

(1) 「政策・制度要求と提言」の策定と実現に向けた取り組み

- ① 県在住・在勤の10,401名の方から回収した「県民意識調査」の結果や産別を横断する部門連絡会からの要望を踏まえ、「2018年度『政策・制度要求と提言』」として7分野14項目23提言に取りまとめ、知事提言に取り組みました。

- ② 各地協や議員懇会員との連携により、34市町村への政策提言を行い、各市町村から文書回答を得る取り組みにつながりました。
- ③ 地方財政の拡充に向けた議会請願に取り組み、6議会で採択につなげることができました。引き続き採択拡大に取り組みます。
- ④ 首長との意見交換による政策実現の取り組み強化をはかることとしていましたが、政策要求提出時のみの取り組みとなってしまいました。連合群馬の考え方を理解し政策実現に向け引き続き取り組みを進めます。

2. 継続的に政策実現を目指す取り組み

◆連合本部と連携したセーフティネットの強化の取り組みとともに、すべての県民が安心して暮らせる地域社会に向けて政策の実現を目指します。

(1) 「公平・連帯・納得」の税制改革に向けた運動の展開

- ① 連合本部の運動方針を踏まえ、活動計画に反映させましたが、本部と連携した具体的な取り組みの提起は無く、展開は行いませんでした。しかし、本部と連携した取り組みは、日常活動として役割と責任を果たしています。

(2) 地方活性化と地方創生への取り組み

- ① 県連合および地協から委員派遣を行い、勤労者の視点で意見反映を行いました。
- ② 地協を含めた委員会への派遣者に対する意見交換の場や共有機会を設けることとしていましたが、開催することができませんでした。

(3) 社会的セーフティネットの強化による安心社会の実現

- ① 国会審議を踏まえ、組織犯罪防止法改正法案（共謀罪）の学習会を開催し、法案内容の共有化と今後の取り組みについて確認しました。

(4) 教育の機会均等と「貧困の連鎖防止」、労働教育・社会教育の推進

- ① 政策要求の知事提言を踏まえ、議員懇会員県議と連携し、県議会での一般質問や委員会において、取り組み強化を求めることができました。
- ② 議員懇と連携し、大学のセミナーや学習会へ参加しました。
- ③ 県民意識調査の項目として設け、ニーズの把握を行いました。

(5) 公正・公平な市場ルールの確立に向けた取り組みの展開

- ① 公契約条例の制定に向けた取り組みを提起していましたが、具体的な取り組みにつなげることができませんでした。

<評価と課題>

- ・すべての県民が安心して暮らせる社会の実現を目標に掲げ県民意識調査の結果をもとに、「生活費や収入」「老後」「健康・医療」といった心配事・困りごとが把握でき、不安解消に向けた具体的な取り組みが求められ、政策要求のさらなる推進が必要となっています。
- ・議員懇との連携については、政策フォーラムや予算学習会、議員懇主催の学習会などを活用し取り組みを行っています。引き続き、政策実現に向けては、議員懇会員との更なる密接な連携が必要となります。

5 働く者の政治勢力拡大を目指す『政治活動』

1. 労働組合の社会的責任を踏まえた、政治意識向上のための取り組み

◆組合員一人ひとりが政治活動の重要性を感じられる取り組みを展開します。

(1) 政治活動の重要性の理解向上に向けた取り組みと投票促進

- ① 産別・地協における新任役員を対象とした「新任役員研修会」を通じた政治活動の必要性など共有化をはかりました。
- ② 連合群馬のホームページやフェイスブック、機関紙「あぶろうち」を通じた政治意識の向上や投票促進など、教宣活動を展開しました。

2. 選挙活動の推進

◆組織の総力を結集し、各種選挙への取り組みを行うとともに、法令遵守の徹底をはかります。

(1) 「働く者」の立場に立った政治勢力の拡大

- ① 昨年の参議院議員選挙の総括を踏まえ、民進党群馬県総支部との定期的な意見交換（6回）の開催に取り組みました。
- ② 議員懇会員に対する出馬の意向把握を行うとともに、各産別に対する候補者発掘に向け、機会をとらえヒアリングを行ってきました。

(2) 政治参画意識の向上の取り組み展開

- ① 新任役員研修や政策フォーラムを通じ、主権者教育の重要性について周知を行うとともに、機関紙「あぶろうち」や「フェイスブック」を活用し、投票促進を取り組みました。
- ② 執行委員会の後段で、産別・地協からの意見集約を行うとともに、推薦基準の見直し論議につなげることができました。

<評価と課題>

- ・昨年の参議院議員選挙の総括を踏まえた民進党群馬県総支部との意見交換の開催、産別・地協との意見交換を行ってきました。その中で、連合群馬推薦基準の見直しを行うことができました。推薦基準の見直し整理を踏まえ、連合群馬総体の力量発揮に向けた取り組み強化が必要です。
- ・各種選挙における投票率向上に向け、機関紙「あぶろうち号外」の発行やフェイスブック、ホームページといったSNSの活用など取り組みを行ってきましたが、投票率の向上につなげることができず、政治活動の必要性や取り組みの重要性を高める取り組み強化が必要です。

6 組織力を最大限活かした『支え合い、助け合う社会づくり』

1. 人権・連帯活動に向けた取り組み

◆県内に活動拠点があるボランティア、NPOへの支援や人権侵害のない社会づくりに取り組みます。また、自然災害など、被災者支援が迅速に行える体制整備の強化をはかります。

(1) 連合愛のカンパ活動の取り組み

- ① 連合本部に対し2団体を助成対象団体として推薦し1団体への助成を行いました。また連合群馬愛のカンパの取り組みとして2つの新規団体を含む計5団体を助成対象団体として推薦し助成につなげました。

- ② 地協によるふれあいフェスティバルや街頭でのカンパ活動に取り組んだ結果、多くの皆様からの善意により、1,099,146円を集約することができました。また地方連合会の役割と責任として連合本部愛のカンパへ30万円を拠出しました。

(2) 自然災害などへの取り組み

- ① 連合群馬の災害時対応マニュアルの整備は進めて参りましたが、訓練の実施までには至っていません。
- ② 群馬県災害時救援ボランティア連絡会議に参加し、社会福祉協議会など関係団体との情報共有を行いました。
- ③ 青年委員会の取り組みとして「防災キャンプ」を開催し、被災した際に必要となるノウハウについて学びました。

(3) 人権運動の推進

- ① 部落解放県民共闘会議の加盟組織として、部落解放同盟や他団体と連携し狭山事件の再審請求実現に向けた街頭行動や群馬県人権啓発講座に取り組みました。
- ② 群馬難病連で取り組む署名活動に取り組み36,092筆を集約することができました。

2. 持続可能な社会の実現に向けた環境保全

◆地球温暖化をはじめ資源の有効活用や廃棄物の減量に向け、世論喚起の強化に取り組めます。

(1) 連合エコライフ21の推進

- ① 連合で環境にやさしい12の生活を周知するため、機関紙「あぶろうち」や、ホームページを活用したPRに取り組めました。
- ② 家庭で取り組む環境対策の情報収集と発信に向けた取り組みは実現できていません。
- ③ 社会貢献活動の取り組みとして赤城神社周辺の森林整備作業を実施し、森林機能の維持につなげるとともに参加者同士の交流をはかりました。

3. 平和運動の推進に向けた取り組み

◆組合員の参画による核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた取り組みを展開します。

(1) 核兵器廃絶と世界の恒久平和に向けた取り組みの推進

- ① 恒久平和に向けて連合本部が開催する平和4行動（沖縄・広島・長崎・根室）への団派遣を行いました。また、一人でも多くの方に参加して頂くため、行程の見直しを行い広島の平和行動については1泊2日としました。
今回、沖縄・長崎・根室の平和行動については、団役員として執行委員を派遣しました。
- ② 次代を担う子ども達に平和の大切さを伝えるため、ふれあいフェスティバルや平和パネル展の機会を活用し折鶴作成の展開をはかりました。
- ③ 核兵器廃絶に向けて高校生1万人署名を21,532筆、えんぴつ運動では4,646本集約しました。また北方領土返還要求署名にも取り組み39,652筆の署名を集約しました。
平和学習会では連合本部より講師を招いての講演、また核兵器廃絶の取り組みに対する更なる意識向上に向け高校生平和大使の活動を紹介しました。
- ④ 県内2カ所（勤労福祉センター、ららん藤岡）にて平和パネル展を開催し、立ち寄られた方々に対し恒久平和の実現に向けた意識向上をはかりました。

4. 労働運動のPRと地域住民とのふれあいの場の提供

◆労働組合のPRや地域との交流など、連合群馬の知名度や支援拡大に向け、取り組めます。

(1) 連合群馬ふれあいフェスティバル

- ① ふれあいフェスティバル開催に向けて円滑な準備を進めるため、昨年12月に実行委員会を立ち上げるとともに、地協幹事会で開催する地区実行委員会の論議にも県連合として加わり、開催に向けた共有をはかりました。
- ② 県連合より8つの会場に役職員を派遣し、フェスティバル運営に協力しました。また、議員懇談会の会員に協力要請を行い、行政相談やフェスティバルの運営に参加頂きました。

<評価と課題>

- ・連合群馬愛のキャンパ助成に向けた取り組みでは、地協などからの情報をもとに新たに2団体を推薦し助成につなげることができました。また連合本部の愛のキャンパに対し地方連合会の役割と責任として地域から頂いた多くの善意を拠出することができました。
- ・自然災害などの対応については、連合群馬として災害時の具体的な対処方法を訓練するには至らず、今後どの程度まで取り組むのか改めて検討することが必要です。
- ・連合エコライフ21の推進では取り組みの周知活動は実施しましたが、新たな環境対策のアイデア募集や情報発信には至っておりません。一方で活動をどこまで広げて行くかは今後検討していく必要があります。
- ・連合群馬ふれあいフェスティバルの今後の在り方について、15期中に結論を出すこととしていましたが、具体的な提案が不足していることから、引き続き論議し整理することが必要です。

7 あらゆる分野における『男女平等参画の実現』

1. 働きがいのある人間らしい仕事の実現と女性の活躍

◆働く女性の活躍を促進し、男女が共に働く社会を目指します。

(1) 働く女性の活躍促進に向けた取り組み

- ① 3.8国際女性デーの趣旨の理解促進に向け、女性組合員を中心とした集会を開催し、104名の参加者を得る中で半数以上が女性といった取り組みにつなげることができました。また、PR器材を用いた駅頭での世論喚起に取り組みました。

2. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）実現に向けた取り組み

◆仕事と生活の役割と責任を男女が分かち合い、男女双方が仕事と生活の調和がはかれる社会を目指します。

(1) 両立支援策の検証

- ① 3.8国際女性デーの中で、春季生活闘争に合わせ、女性活躍推進法に基づく行動計画の点検の実施を呼びかけました。
- ② 女性活躍先進企業への訪問による意見交換を通じた学習を行うとともに、県が設置した審議会や委員会など会議体での意見反映に努めました。

(2) 男性の育児参加促進に向けた取り組み

- ① 会長による「イクボス宣言」を行うとともに、県が開催する「イクボス養成塾」の共催団体として連携した取り組みに協力してきました。

3. 多様な仲間の結集と労働運動の活性化

◆女性の組合活動参画の促進と女性リーダーの育成に向けて取り組みます。

(1) 多様な仲間の結集と労働運動の活性化

- ① 女性活躍に先進的に取り組んでいる企業への訪問（㈱サンデン、㈱群馬銀行、JR東労組）を行い、男女平等参画推進委員会ならびに女性委員会合同で意見交換を実施しました。
- ② 群馬労働局雇用環境均等室に対し、連合群馬会長ならびに男女平等参画推進委員長および女性委員長の連名による申し入れを行うとともに、意見交換を実施しました。
- ③ 連合本部のキャンペーンに合わせ、女性委員および連合群馬女性職員による「女性のための全国一斉労働相談ダイヤル」の対応を行いました。

(2) 第3次推進計画に向けた課題の抽出と対応強化

- ① 第3次計画の目標最終年度であり、各産別・単組の「男女平等参画推進」に関する実態調査を実施し、現状把握に努めました。
- ② 女性活躍先進企業訪問を実施し、取り組み事例の収集を行いました。

<評価と課題>

- ・3.8国際女性デーによる県民に向けたPR活動や女性参画に向けた「先進企業訪問」による実態把握を行うことができました。第3次男女平等参画推進計画も最終年度となることから、取り組みの結果や各組織における進捗状況を把握し、第4次計画の立案と組織内への展開につなげる必要があります。
- また、具体的な事例を把握できることから女性活躍の先進企業訪問を継続し、組織内への水平展開が効果的であると考え、引き続き取り組みます。
- ・連合群馬執行部や構成産別執行部についても、女性役員選出や機関会議への女性参加率向上のために、一定の数値目標を掲げる必要があります。

以 上

第15期後半期（2017年度）活動経過 ◆目で見える◆報告

1 『組織拡大・組織強化』

群馬中小企業家同友会との意見交換 8月1日
労働環境改善、未組織企業情報など意見交換



新任役員研修会（65名） 1月14日
「働くことを軸とする安心社会の実現」（連合本部組織局 宇田川局長）、「労働組合づくりの重要性について」（阿部組織アドバイザー）



産別との対話活動

組織拡大・強化、連合運動を進める上での課題など意見交換（私鉄総連〔写真〕・全電線・政労連）



本部オルガナイザー研修会<基礎編> 7月18~20日



連合本部ニュース
自動車総連 正田製作所労働組合結成

青年委員会スポーツ交流会（107名）

4月22日

ニュースポーツ「キンボール」、パラリンピック競技「ボッチャ」で交流



連合群馬・連合埼玉 青年委員会交流会（15名）

6月17日～18日

南米赴任の経験談（青年海外協力隊群馬県OB会 山口朗事務局長（東電労組））、青年活動の更なる活性化に向けて意見交換



関プロ海外派遣研修

9月10～15日

青年・女性委員会より各1名派遣、ミャンマーの労働・生活事情視察



連合群馬ユニオン加盟組織 機関会議参画

(写真：三益半導体工業労組)



DATA

広報状況

機関紙「あぷらうち」発行

No.251	12月	年次大会、平和行動根室派遣団
No.252	1月	会長インタビュー、年女年男、地協政策、民進党意見交換
No.253	2月	TLU集会、新春労使共同セミナー、愛のキャンパ募集、ユニオンガールTALK
No.254	3月	3.8女性集会、労働相談からクラシノソコアゲ、WR検定、議会報告、ユニオンガールTALK
No.255	4月	中小労組集会、働き方改革、大泉町議選、ユニオンガールTALK
No.256	5月	青年スポーツ交流、クラシノソコアゲキャンペーン街頭行動
No.257	6月	男女平等月間、ふれあいフェスティバル、太田東高校、組織拡大月間
No.258	7月	県民意識調査結果、埼玉青年委員会との交流、ユニオンガールTALK
No.259	9月	政策提言、中小企業家同友会意見交換、労基署との意見交換、メンタルヘルスセミナー

ホームページアクセス、フェイスブック閲覧件数（2017年8月現在）

月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	計
HP	4,850	5,080	4,701	4,018	3,901	3,890	4,888	4,434	8,837	4,513	4,016	4,683	57,811
FB	1,679	1,115	96	1,053	1,054	1,795	1,724	3,328	1,509	1,439	1,113	2,544	19,103

マスコミへの記事・広告掲載件数（2017年8月現在）

各社	上毛	朝日	毎日	読売	産経	群馬テレビ	計
記事	14		1	3	2	1	21
広告	2			2			4

組織拡大の状況

- ◇正田製作所労働組合（自動車総連）
- ◇関東マツダ労働組合（自動車総連）
- ◇榛名モールド労働組合（JAM）※連合群馬ユニオンより移行
- ◇東洋ポリーズ労働組合（UAゼンセン）

2 『地域に根差した活動』

地協活動検討委員会

専従者役割、配置エリアおよび拠点などを論議



地協幹事会参画

統合地協の新たな課題整理など意見交換



地域労働相談PR

ホームページトップページで見える化



愛のキャンパ 贈呈式

2016年から推薦地協で贈呈式



3 『労働条件の底上げ』

トータルライフアップ全県集会 (301名)

1月14日

春闘の方針説明 (連合本部 労働条件・中小労働対策局 大久保局長)、春闘の現状と課題～いかに組合員を巻き込むか

(j.union西尾会長)



地協トータルライフアップ学習会（写真:西部地協、桐生地協、北部地協）



中小労組春季生活闘争決起集会・アピールウォーク（180名）

3月27日

春闘の情勢報告（連合本部 須田総合労働局長）、中小労組代表決意表明（U Aゼンセン群馬県支部 内川常任）



クラシノソコアゲ応援団 キャンペーン

6月7日、5月21.28日

停止街宣及び街宣行動、街頭アンケート



群馬県産業労働懇談会 12月15日、8月3日
労働局各課の労働行政報告や「過労死等ゼロ緊急対策」、「次世代育成支援」など意見交換



太田東高校「公開みらい学」

5月20日

働くことをテーマに座談会形式で生徒と意見交換、講師21名を派遣



メンタルヘルスセミナー (56名)

8月26日

健康な職場づくり～若手社員の“メンタル離職”を未然に防ぐ～アサーションを学ぶ (元群馬県生産性本部 南雲事務局長)



ふれあいフェスティバル参加校

将来の勤労者とのふれあい。高校3校、大学3校が参加



ライフサポートぐんま 毎週木・土曜
メンタルヘルスやキャリア形成など
カウンセラーが対応



労働基準監督署との意見交換 7月～8月
「働き方改革」実現に向けての取り組み状況、
「36協定」の現状やその徹底について意見交換



DATA

2016年度群馬県特定（産業別）最低賃金改定

【改定結果】 ※発効日：12月24日（鉄鋼業影響率はデーターが少ないため未算出）

	鉄鋼業	一般機械	電気機器	輸送用機器
最低賃金額	857円	846円	845円	846円
引上額	16円	16円	16円	16円
引上率	1.90%	1.93%	1.93%	1.93%
影響率	—	4.97%	8.30%	8.07%

群馬県地域別最低賃金（2017年10月7日発効）

地域別最低賃金	改定額	引上額	引上げ率
	783円	24円	3.16%

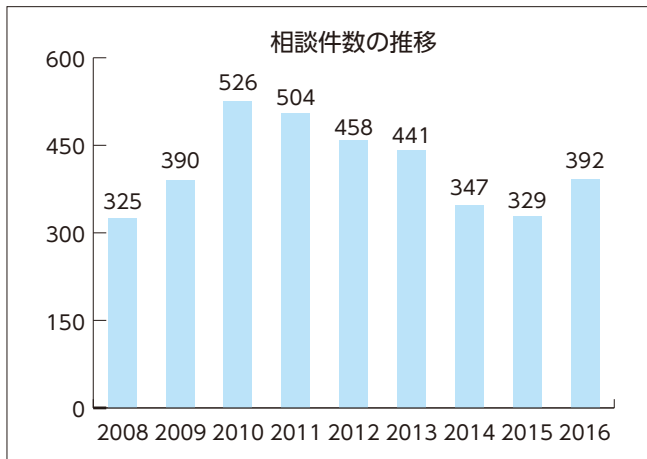
2017連合群馬地域ミニマム金額の設定額

18歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳
154,600円	162,100円	175,600円	189,100円	202,600円	216,100円

地協トータルライフアップ学習会

前橋	11月24日	労働災害撲滅に向けた職場の安全衛生学習会（前橋労働基準監督署）
高崎	1月28日	①セカンドライフをサポートします（全労済）、春闘方針（連合群馬）
桐生	2月15日	①連合春闘の取り組み（連合群馬）、②長時間労働の実態やその解消に向けた方法（桐生労働基準監督署）
伊勢崎	3月29日	①議会報告（加賀谷県議、矢島・石川町議）、②働き方改革の動向と連合の考え方（連合群馬）
北部	4月22日	ライフプランとマネープランニング 貯蓄大作戦（事業団体）
西部	4月23日	①体に痛みのあるときの生活の工夫（県民健康科学大学 高井教授）、②事業団体講話
太田	6月2日	①労働者災害発生の仕組み・防止するための対策、②長時間労働の規制（36協定）について（太田労働基準監督署）
館林	9月8日	出張！ゴルゴ塾 命の授業（タレント ゴルゴ松本氏）

なんでも労働相談推移



4 『政策・制度要求実現』

組織犯罪処罰法（共謀罪）改正案学習会（71名）
6月20日
法案の運用や今後の運動展開の必要性など共有
(連合本部政治局 照沼次長)



群馬県予算学習会（42名） 6月20日
群馬県未来創生予算を共有
(群馬県財政課 友松課長)



2017年政策フォーラム（200名） 7月22日
交通弱者の足の確保と地方都市構造の在り方（交通ジャーナリスト 鈴木文彦氏）、地域における公共交通対談（小竹政策アドバイザーと鈴木氏）、2018年度政策・制度要求と提言（案）を基にした意見交換を実施



7分野14項目23提言「2018年度 政策・制度要求と提言」①誰もが楽しく住めるまちづくり、②交通弱者対策の強化、③教職員の勤務時間管理、過重労働の軽減など意見交換



地方財政充実強化を求める議会請願 議員懇・地協と連携し6議会が採択

地方財政の充実
意見書を可決
議長は、地方財政の充実強化を求め、議員懇談会を主催し、議員懇談会を開催した。懇談会には、市議会議員、地協代表、市民代表、関係者約30名が参加した。議長は、地方財政の充実強化を求め、議員懇談会を開催した。懇談会には、市議会議員、地協代表、市民代表、関係者約30名が参加した。

議長は、地方財政の充実強化を求め、議員懇談会を開催した。懇談会には、市議会議員、地協代表、市民代表、関係者約30名が参加した。

議長は、地方財政の充実強化を求め、議員懇談会を開催した。懇談会には、市議会議員、地協代表、市民代表、関係者約30名が参加した。

2017.6.29 桐生タイムス

DATA

2017年県民意識調査集約

対象	取組先	依頼数		回収数				回収率
		依頼数	うち女性	男	女	不明	合計	
組織内	産別	4,660	1,700	3,134	1,634	62	4,830	103.6%
組織外	地協等	5,923	3,065	2,431	2,937	203	5,571	94.1%
内・外	総計	10,583	4,765	5,565	4,571	265	10,401	98.3%

地協2017政策・制度要求と提言

地協名	提出先市町村名	提出	意見交換	文書回答	地協名	提出先市町村名	提出	意見交換	文書回答
前橋	前橋市	11/ 2	有	2/22	北 部	渋川市	11/1	有	12/26
高崎	高崎市	11/22	有	3/31		吉岡町	11/1	有	11/30
桐生	桐生市	11/ 9	有	11/30		榛東村	11/10		
	みどり市	11/ 4	有	11/24		沼田市	11/17	有	12/15
伊勢崎	伊勢崎市	10/31	有	12/2		みなかみ町	11/17	有	9/22
	玉村町	11 /1	有	2/2		昭和村	11/17	有	
太田	太田市	11/10	有	12/14		川場村	11/17	有	3/ 7
館 林	館林市	10/12	有	12/22		片品村	11/17	有	1/23
	千代田町	10/25	有	12/7		高山村	11/18		
	大泉町	10/25	有	12/15		中之条町	11/18	有	12/ 9
	邑楽町	10/12	有	12/19		東吾妻町	11/18	有	1/18
	明和町	10/14	有	1/18		長野原町	11/18	有	12/19
	板倉町	12/ 2	有	3/9		嬭恋村	11/18	有	12/28
西 部	富岡市	11/ 8	有	12/2		草津町	11/18	有	12/ 1
	甘楽町	11/ 8	有						
	下仁田町	11/ 8	有						
	南牧村	11/ 8	有						
	安中市	11/ 1	有	11/24					
	藤岡市	11/18	有	12/8					
	神流町	11/18	有						
上野村	11/18	有	12/8						

5 『政治活動』

民進党群馬県総支部との意見交換 11月30日、1月24日、5月11日、6月12日、7月13日、9月4日



大泉町議会議員選挙

組織内候補者2名当選、佐藤久芳氏初当選〔写真〕



前橋市議会議員選挙

組織内候補者
5名全員当選



あぷらうち1月号

DATA



選挙結果

候補者名	推薦組織	得票数	当落	備考
前橋市議会議員選挙（2017年2月5日告示、12日投開票）				
細野 勝昭	自動車総連	2,245	当選	推薦
三森 和也	自治労	3,409	当選	推薦
宮田 和夫	情報労連	2,397	当選	推薦
角田 修一	電力総連	2,198	当選	推薦
藤江 彰	国公総連・日教組	2,580	当選	推薦
大泉町議会議員選挙（2017年4月18日告示、23日投開票）				
佐藤 久芳	電機連合	1,554.448	当選	推薦
都丸 裕史	自動車総連	1,537	当選	推薦
大泉町長選挙（2017年4月18日告示、23日投開票）				
村山 俊明	館林地協	無投票	当選	支持
群馬県議会議員補選（館林市区）（2017年5月5日告示、14日投開票）				
茂木 直久	館林地協	5,146	次点	支持

6 『支え合い、助け合う社会づくり』

2017愛のキャンパ

9月13日

連合群馬推薦の2団体へキャンパ金贈呈

推薦団体 フォレストぐんま21、大利根マロニエ会、太田手話サークルぐみの木会、
群馬藤岡災害ボランティアサークル（初）、ターサ・エデュケーション（初）



森林整備（50名規模）

10月7日

前橋市市有林 赤城神社西付近〔写真昨年〕



エコライフ取り組み
ホームページで啓発



連合群馬平和学習会（93名）

6月3日

「連合平和行動について」（連合本部連帯活動局 若月部長）、核兵器廃絶に取り組む高校生平和大使の活動紹介、平和派遣団代表報告などを学習



連合群馬ふれあいフェスティバル

5月21・28日（6月4日、18日）

県内8会場（安中・藤岡会場含めて10会場）延べ37,650名が参加



平和行動

6月～9月

平和派遣団4行動43名が参加し、平和への祈りや継承活動などの重要性などを認識



平和パネル展

6月2日～5日、8月11日～13日

勤労福祉センター、ららん藤岡で広島・長崎の被爆の現状などパネル展示



DATA

2017愛のカンパ

連合群馬 愛のカンパ	フォレストぐんま21	3回目	10万円
	大利根マロニエ会	3回目	10万円
	太田手話サークルぐみの木会	2回目	5万円
	群馬藤岡災害ボランティアサークル	初	15万円
	ターサ・エデュケーション	初	15万円
本部愛のカンパへ拠出			30万円
本部愛のカンパ	太田市社会貢献活動連絡協議会	2回目	10万円

DATA

平和派遣団

沖縄	6/23～25	産別10名、議員懇1名、事務局2名
広島&親子	8/5～6	産別12名（うち親子6名）、事務局2名
長崎	8/8～10	産別5名、事務局2名
根室	9/8～10	産別7名、事務局2名

Point

沖縄と長崎は連合埼玉と連携・交流を行う。
 沖縄と根室へ執行委員を事務局派遣、長崎へ執行委員を団長派遣した。

平和行動に関する取組

取り組み内容	集約数	備考
折鶴の集約	47,990羽	沖縄・広島・長崎集会で献納
高校生1万人署名	25,532筆	長崎平和集会・会場にて実行委員に提出
高校生えんぴつ運動	3,810本	
北方領土返還署名	39,652筆	9月13日、北対協へ提出

7 『男女平等参画の実現』

3.8国際女性デー高崎駅頭行動・集会（104名）

3月8日

職場や労働組合で男女平等参画の実現を訴える。高崎駅では『バラ』の香り入浴剤を配布



群馬労働局雇用環境・均等室申し入れ 6月28日 「雇用における男女平等に関する要望書」提出



女性活躍先進企業訪問の訪問 6月7日 JR東労組、サンデン、群馬銀行で意見交換



女性のための全国一斉集中労働相談ダイヤル

6月

群馬労働局 千葉雇用環境・均等室長より女性の相談傾向等研修、女性委員会による相談ダイヤル対応



その他

2017 新春労使共同セミナー（400名）

1月18日

講演「指導者としてあるべき姿」（元読売巨人軍投手 西本 聖氏）、労使による新年交流会



ワークルール検定2017春・初級（群馬会場）6月11日

「就業規則・労働時間」講義（早稲田大学清水教授）後、
検定3級受験者65名、合格者47名

